

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年4月3日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週				
	10週	11週	12週	13週	
	3月2日～3月8日	3月9日～3月15日	3月16日～3月22日	3月23日～3月29日	
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	573 114.60	619 123.80	422 84.40	481 96.20	
	54 10.80	51 10.20	32 6.40	30 6.00	
	23 4.60	14 2.80	9 1.80	14 2.80	
小児科定点	RSウイルス感染症*				
	咽頭結膜熱*		3 1.00	1 0.33	6 2.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	3 1.00	8 2.67	5 1.67	4 1.33
	感染性胃腸炎	15 5.00	7 2.33	5 1.67	11 3.67
	水痘				
	手足口病				
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	4 1.33	1 0.33		
	ヘルパンギーナ*				
	流行性耳下腺炎				
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎		2 2.00		
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎				
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)				
	川崎病	2	1		
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

【医療機関の皆様へ】

・感染症法に基づく、医師の届出に必要なアカウントの発行及びシステムのログインはこちら



3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

・なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- ・ 県全体における急性呼吸器感染症患者の検体から、パラインフルエンザウイルス(インフルエンザウイルスとは別もの)が検出されています。インフルエンザ以外の呼吸器感染症が流行している可能性があるため、引き続き基本的な感染対策を心掛けてください。
- ・ 梅毒の患者報告数は年々増加傾向にあり、昨年同時期より多くなっています。生殖器にしこりやただれ等の症状が出現した、感染者と性的接触があった等感染が疑われる場合には、早期に医師の診断・治療を受けてください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

・ 新たな集団発生の報告はありません。

- ・ 保健所では、御希望の施設に職員を派遣して、研修会を実施しています。
- ・ 研修会では、講話の他、吐物処理やPPEの着脱、手洗い等の演習も実施可能です。
- ・ 御希望があれば、右記番号まで御連絡ください。

【感染症コラム～感染性胃腸炎(ロタウイルス)～】

- ・ ロタウイルスは乳幼児の重症急性胃腸炎の主要な病原体です。感染を繰り返すごとに症状は軽くなり、成人では不顕性感染で終わることもあります。年末頃から患者報告数が増加し、春先に流行のピークを迎えます。
- ・ 主な感染経路は人から人への糞口感染です。感染力が極めて高く、汚染された水や食物等を触った手からウイルスが口に入って感染が成立するとされています。
- ・ 通常2日間の潜伏期間を経て発症し、下痢、嘔気、嘔吐、発熱、腹痛を主症状とし1～2週間程で改善します。小児では、脱水に注意が必要です。
- ・ 治療は、下痢、脱水、嘔吐に対する治療が行われます。
- ・ 感染対策の基本は、オムツの適切な処理、石鹸を用いた手洗い、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒です。アルコール消毒はあまり効果がありません。
- ・ 小児においては、ワクチンによる重症化予防が有効です。初回接種は生後14週6日までに済ませましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594